

令和6年度行政評価 施策評価シート （令和5年度実績）

施策名 健康づくり支援の充実

施策コード 5040401

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 健康推進課
関係課	介護保険課、国保年金課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり（支え合い・福祉・健康）	第4節 健康・医療
	施策	健康づくり支援の充実	

基本方針	
・健康マイレージ事業、健康教室・健康相談等の健康づくり事業の実施や、健康づくりに関する情報提供により、健康づくりの多様な選択肢の提供の充実に努めます。 ・保健指導等の実施により、自主的な健康づくり活動を支援し、生活習慣病の予防及び介護予防を図り、健康寿命の延伸に努めるとともに、医療費の抑制を図ります。 ・食育や心の健康づくりを推進し、生涯にわたる健康づくりを支援します。	
現況と課題	
・働き方の変化などにより、生活リズムの多様化が生じ様々なニーズがある中、健康づくりの多様な選択肢の提供等、その環境づくりが求められています。 ・超高齢化が進む中、健康寿命の延伸を図るためには、自らが健康づくりに励む意識とその支援体制の充実とともに、民間事業所での取り組み、そして地域の実情に応じた普及・啓発・実践が必要となります。	
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	
意図（どのような状態にしたいのか）	
健康寿命をのばし、生活の質の向上を図ります。誰もが安心して充実した毎日を送ることができるよう、保健・医療・福祉施策の充実に努めます。	

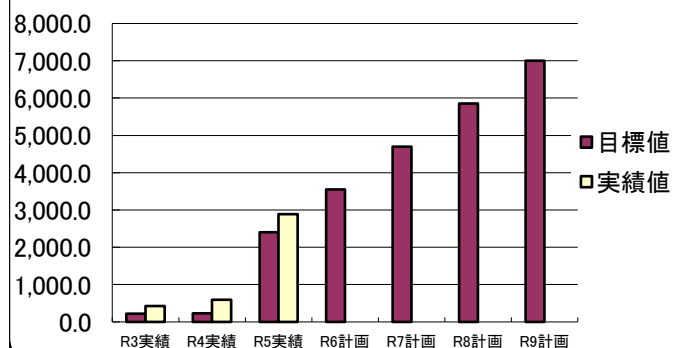
3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	56.3						
重要度（偏差値）	46.4						

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	R4決算	R5決算				
	事業費	千円	24,580	33,374				
	フルコスト		12,422	31,854				
財源内訳	国庫支出金	千円	37,002	65,228				
	府支出金		0	0				
	市債		1,583	1,433				
	その他		0	0				
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		192	19,006				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		35,227	44,789				
			10,647	11,415				

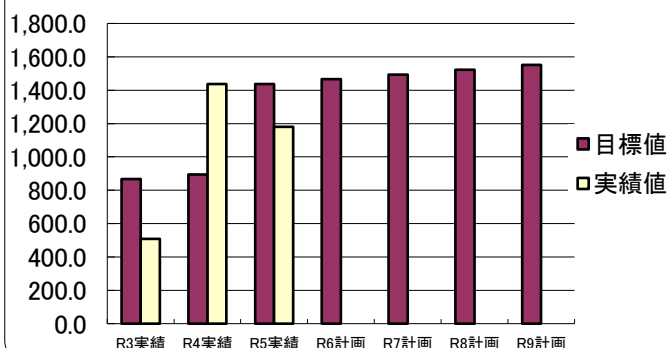
5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		健康マイレージの参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	220.0	227.0	2,400.0	3,550.0	4,700.0	5,850.0	7,000.0
実績値	429.0	596.0	2,885.0				
達成度	195.0	262.56	120.21				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
健（検）診受診することで自身の健康状態を把握するだけでなく、日常生活における健康活動に対しても熱心に取り組んでいる市民の人数がわかる。		R5年度の実績値をもとに、年間1,150人アップを目標とした。		目標値は達成しているが、R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり参加者は減少し、R3年度は新型コロナウイルス感染症の影響あるも微増し、R5年度は1月からデジタル化し、参加者が増加した。			

② KPI 2		健康教室等への参加者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	868.0	894.0	1,436.0	1,465.0	1,494.0	1,523.0	1,552.0
実績値	509.0	1,436.0	1,181.0				
達成度	58.64	160.63	82.24				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
生活習慣病の予防の推進を図るための知識の普及・啓発に関わる健康教室等への参加者数の増加により、生活習慣病予防に対する意識向上の進捗状況がわかる。		R5年度の実績値をもとに、年間2%アップを目標とした。		健康に対する関心が高まり、健康教室等への参加者の目標値は達成していたが、R2年度、R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康教室の開催を中止や縮小開催したため、参加者数は減少したが、R5年度はR4年度よりさらに多くの参加者数を見込んだが見込みほど参加者は増加しなかった。			
③ KPI 3		健康相談への参加者数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	139.0	143.0	576.0	588.0	600.0	612.0	624.0
実績値	153.0	576.0	151.0				
達成度	110.07	402.8	26.22				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
健康相談事業は、市民の健康状態を血圧測定や問診等によりチェックし、健康的な日常生活を過ごせるよう、専門職が適切な助言を行う事業である。この指標により市民の疾病予防に対する関心度がわかる。		R5年度の実績値をもとに、年間2%アップを目標とした。		月1回の定例や地域からの依頼や健康教育実施時の健康相談の参加者であり、目標値は達成していたが、R2年度、R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、健康相談は電話相談などで対応したため、相談数は一定確保していた。R5年度はR4年度より更に大幅増加する見込みが見込みほど増加しなかった。			
④ KPI 4		健康寿命（男性）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	78.61	78.71	78.8	79.0	79.2	79.4	79.6
実績値	78.3	78.7	78.8				
達成度	99.61	99.99	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）と平均寿命の差が小さいことで、健康であると考えられ医療費の抑制に繋がる。		要介護状態区分などを利用した府の算出値（国の健康寿命とは算出方法が異なる）を根拠としている。0.2歳ずつの延伸を目標値とした。		健康寿命は微増ではあるが伸びている。			
⑤ KPI 5		健康寿命（女性）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	82.48	82.58	82.8	83.0	83.2	83.4	83.6
実績値	82.4	82.6	82.8				
達成度	99.9	100.02	100.0				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
健康寿命（日常生活動作が自立している期間の平均）と平均寿命の差が小さいことで、健康であると考えられ医療費の抑制に繋がる。		要介護状態区分などを利用した府の算出値（国の健康寿命とは算出方法が異なる）を根拠としている。0.2歳ずつの延伸を目標値とした。		健康寿命は微増ではあるが伸びている。			

KPI①

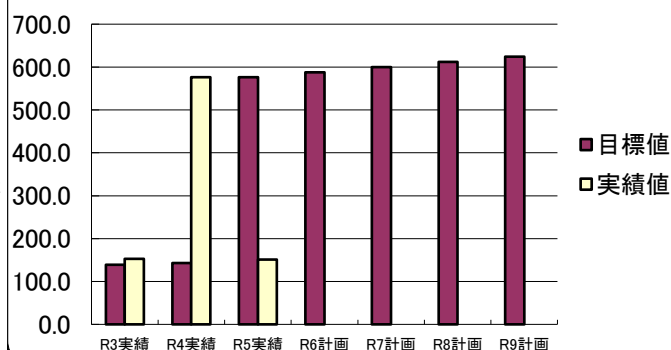


KPI②

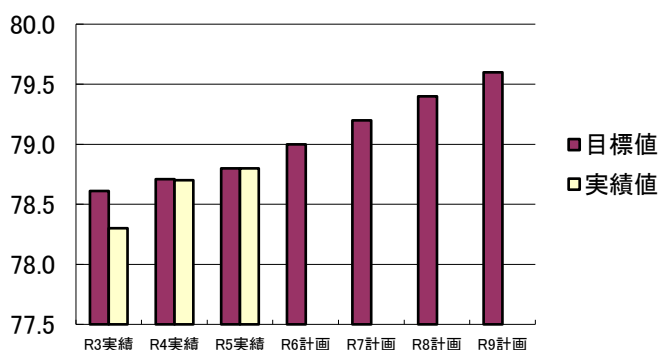


図表

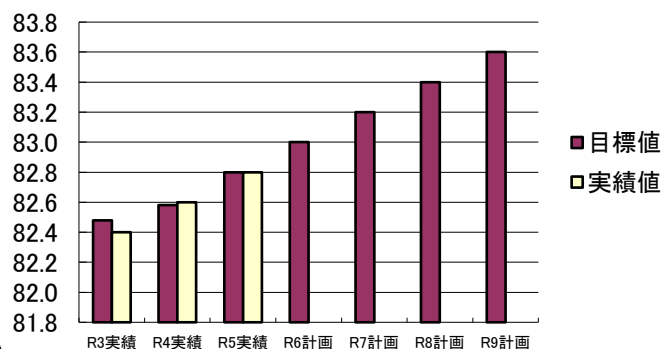
KPI③



KPI④



KPI⑤



6. 施策の事後評価

	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	対象者・実施方法が異なるため、周辺市との比較は困難。参加者の高齢化がみられ、生活習慣病予防にかかる教室への健康増進法対象(40歳～65歳未満)の積極的な参加を伸ばす対策の課題が常態化している。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	R6年1月より健康マイレージがデジタル化し、歩く・血圧測定・健康講座に参加等によりポイントを付与したため健康づくりへのニーズは高まった。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 2	平成20年度の医療制度改革により、老人保健法が廃止になり、健康増進法と高齢者の医療の確保に関する法律に基いたものとなり、健診受診後のフォローの充実の重要性が示された。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、健康づくり活動への参加が困難になっていたが、参加者が増えてきた。
	合計点	(10点中) 7点	
	総合評価	B	国や府の健康増進に対する施策への後押しがあり、市民の健康づくりに対する取り組みへの機運は高まっていることから、施策の重要度は極めて高いと言える。参加者数も微増しているが、40歳から65歳の年代の健康相談・健康教育への参加者を増やすことに努めたい。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		B	市民アンケートH30との比較では重要度微減、満足度微増となっている。健康寿命自体をkpiとしており、引き続き目標達成に努められたい。
三次評価(理事者による評価) ※二次評価と異なる場合など記載		B	

7. 施策を構成する事務事業

事務事業			R5年度決算額			R6年度予算	一次評価
予算コード	事務事業名		人件費	事業費	一般財源		
1	01026700	健康づくり事業	5,266	8,752	8,752	0	B
2	01027000	公衆衛生対策事業	81	1,126	1,126	0	B
3	01028100	健康増進健康指導事業	11,093	1,031	383	0	B
4	01081740	健康マイレージ事業	14,368	19,741	735	0	B
5	02050290	健康増進事業	2,566	1,204	419	0	B
合計			33,374	31,854	11,415	0	

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030501010	予算コード	01026700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	健康づくり事業			正規職員数 0.6	国庫支出金 0	有効性	A	市民自らが健康管理し、健康寿命を延ばしていくことが、行政の課題となり、健康増進計画・食育推進計画の策定及び進捗管理をもって進めているところである。また、市民の支援には、健(検)診受診状況を始めたとした健康状態の把握は必要であり、健康管理システムの運用維持管理は不可欠となっている。			
担当課	健康推進課			嘱託職員数 0.1	府支出金 0	効率性	B				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0	妥当性	B				
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	その他 0	受益者負担	該当なし				
	健康増進法			人件費総額 5,266	一般財源 14,018						
					減価償却費 0						
				事業費 8,752							
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	14,018	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	141	公的関与	A	・第2次健康増進計画・食育推進計画の遂行。 ・がん患者等への経済的負担軽減のため、補正具の購入費用の助成をR3年度より開始した。			
対象				活動指標	R5実績						
不特定の市民	対象数			健康づくり推進計画進行管理	1.0	実施主体・委託化	B				
事業の内容						他の事務事業との関連	A				
・第2次健康増進計画・食育推進計画を令和2年3月に策定した。以下の基本目標の達成のため取組を展開する。平成29年度には健康都市連合に加入し、市民の健康づくり、健康な都市づくりをより一層推進する。 ①健康寿命の延伸 ②生活習慣病の発症及び重症化の予防 ③健康を支え、守るための環境整備				成果指標	R5実績	透明性	A				
				健康づくり推進計画進行管理	1.0	財政健全化計画	該当なし				
						財政健全化の取組	該当なし				
						改革改善プラン達成度	該当なし				
				コスト指標	R5実績						
				市民1人あたりの経費	141.0						
事業の目的											
生涯を通じた保健事業の推進、支援											

事務事業コード	030501030	予算コード	01027000	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B	
事務事業名	公衆衛生対策事業			正規職員数	0.01	国庫支出金	0	有効性	B	
担当課	健康推進課			嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性		
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	0			
				歳出(千円)		その他	0	妥当性		
				人件費総額	81	一般財源	1,207			
						減価償却費	0	受益者負担		
					事業費	1,126				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	1,207	緊急性	C	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	12			R2年度については、借地料として1,126千円を支払った。		
対象				活動指標	R5実績	公的関与	A			
特定の団体		対象数		泉佐野保健所用地借地	1.0	実施主体・委託化	A			
事業の内容						他の事務事業との関連	A			
大阪府が設置している泉佐野保健所のための用地（泉佐野市上瓦屋583-1）の借地を行っている。				成果指標	R5実績	透明性	C			
				泉佐野保健所用地借地		1.0	財政健全化計画			該当なし
							財政健全化の取組			該当なし
							改革改善プラン達成度			該当なし
				コスト指標		R5実績				
				泉佐野保健所用地借地料		1,126.0				
事業の目的										
泉佐野保健所用地の借上げを行い、保健所の存立を確保することを目的とする。										

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030501020	予算コード	01028100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	健康増進健康指導事業			正規職員数 0.78	国庫支出金 0	有効性	A	個別の相談等の場合は残しつつ、行政以外の事業者や団体等と協働し、広く市民に積極的に啓発しながら現状を継続していく。	
担当課	健康推進課			嘱託職員数 1.1	府支出金 648				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0.5	市債 0	効率性	A		
	■法律・政令・省令			歳出(千円)	その他 0				
	健康増進法			人件費総額 11,093	一般財源 11,476	妥当性	A		
					減価償却費 0				
					事業費 1,031	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	12,124	緊急性	B	事務事業実施内容	
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	122			年間を通して健康教育を実施し、健康相談を相談日を設け、また関係機関からの依頼により実施している。1月から健康マイレージ事業がデジタル化し、健康講座の参加者にポイントを付与したことで大幅に増加した。	
対象				活動指標	R5実績	公的関与	B		
不特定の市民	対象数	34,209人	健康教育実施回数	58.0					
40歳以上65歳未満の市民			健康相談実施回数	32.0		実施主体・委託化	B		
事業の内容				訪問指導実施回数	3.0				
健康教育、健康相談、訪問指導等を実施。健康教育、健康相談、訪問指導等について、平成18年度より介護保険法の改正に伴い、対象が40歳以上65歳未満へと移行。						他の事務事業との関連	A		
				成果指標	R5実績	透明性	A		
				健康教育参加者数	1,181.0				
				健康相談参加者数	151.0	財政健全化計画	該当なし		
				訪問指導者数	3.0				
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				1人あたりのコスト	9,081.0				
事業の目的									
市民ひとりひとりが健康に対する意識の向上、自分の健康は自分で守ることを目的としている。									

事務事業コード	030501050	予算コード	01081740	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	健康マイレージ事業			正規職員数 1.67	国庫支出金 0	有効性	A	事業開始から徐々に市民に浸透しつつあると思われる。アプリの不具合の対応やポイント付与の対象講座等について検討も必要。	
担当課	健康推進課			嘱託職員数 0.2	府支出金 0				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数 0	市債 0	効率性	C		
				歳出(千円)	その他 19,006				
				人件費総額 14,368	一般財源 15,103	妥当性	A		
					減価償却費 0				
					事業費 19,741	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	34,109	緊急性	D	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	344		D	健康マイレージがデジタル化し、歩く・血圧測定・講座参加することでポイントを付与した。歩く・血圧測定を習慣化している人は増加し、講座参加者も大幅に増加した。紙のマイレージカードは、健（検）診を受けるとポイントを付与する制度は継続しているが、健康習慣ではポイント付与をしておらず、デジタル化と差別化してアプリの参加者が大幅に増加した。	
対象				活動指標	R5実績	公的関与	B		
不特定の市民	対象数	83,461人		対象者	83,461.0				
20歳以上の人を対象						実施主体・委託化	B		
事業の内容						他の事務事業との関連	A		
H24年度から開始した事業で、日ごろから、自ら健康づくりへの機運を高め、健康づくりへの動機付け支援と健康的な生活習慣の定着を促し、健康づくりに対する意識を広く普及する。目的達成の動機付けの1つとして、健康マイレージ達成者に地域ポイントを付与する。R6年1月より健康マイレージ事業がデジタル化し、健康講座等の参加者に地域ポイントを付与する。				成果指標	R5実績	透明性	A		
				記念品交換者数	651.0				
						財政健全化計画	該当なし		
						財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				記念品交換者1人あたりのコスト	52,394.0				

令和6年度行政評価 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業コード	030501060	予算コード	02050290	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	健康増進事業			正規職員数 0.31	国庫支出金 0	有効性	B	被保険者の健康保持増進のため、一定の事業の実施が必要である。	
担当課	国保年金課			嘱託職員数 0.01	府支出金 785				
根拠法令等	法定受託以外の法令			臨時職員数 0	市債 0	効率性	B		
	■法律・政令・省令 ■条例・規則			歳出(千円)	その他 0	妥当性	A		
	国民健康保険法、泉佐野市国民健康保険条例			人件費総額 2,566	一般財源 2,985	受益者負担	B		
					減価償却費 0				
					事業費 1,204				
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)	3,770	緊急性	B	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当たりコスト(円)	38	公的関与	A	保健指導事業、温水プール体験教室、市民健康ハイキングの実施	
対象				活動指標	R5実績				
特定の市民	対象数	18955		市民健康ハイキング実施回数	2.0		B		
国民健康保険被保険者				温水プール体験教室実施回数	2.0		A		
事業の内容				保健指導事業支援者数	26.0				
保健指導事業において特定健診受診者のうち受診勧奨対象者で受診歴がない人への訪問指導及び特定保健指導対象者ではないが境界域にいる人への早期介入保健指導の実施、温水プール体験教室、市民健康ハイキング(年2回)を実施している。						他の事務事業との関連	A		
				成果指標	R5実績	透明性	C		
				市民健康ハイキング参加人数	131.0	財政健全化計画	該当なし		
				温水プール体験教室参加人数	11.0				
				保健指導事業支援者数	26.0	財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標	R5実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
				市民健康ハイキング一人あたり事業費	2,845.3				
				温水プール体験教室一人あたり事業費	33,600.0				
				保健指導事業一人あたり事業費	72,761.4				
事業の目的				国保法第82条に基づき健康教育、健康相談、健康診査その他の必要な事業を行うことにより、被保険者の健康保持増進を図る。					